

新地場企業群像

各種部品をトラックなどに載せて運ぶための箱形金属容器の生産を主力とする。顧客のオーダーに合わせて成形。収める部品をびったりと固定し、輸送中の破損を防ぐ。物流現場のニーズに細やかに対応する。地域の住民にパートタイムで活躍してもらおうと、1990年に創業。自動車のドアのヒンジ(ちょうつがい)などを製造してきたが、2000年代に入り転機を迎えた。当時人件費が安かった中国との競争や08年のリーマン・ショックの

請求・決済ウェブ代行

機発売 ムも設置

シンギが販売を始めたプロトン凍結機

広島ピーエス (東広島市)

工場内物流自動化に力



金属製容器などを溶接する工場を紹介する宮原社長㊦

影響で、自動車部品の先行きが不透明になる中、溶接などの技術を生かして物流用容器の生産を開始。今や主力事業へと成長し、自動車部品はほとんど手掛けない。

16年には、工場内で設定したルートに沿って自動で動く搬送台車を開発。昨年から、台車やロボットを組み合わせて物品の載せ降ろし・搬送の作業を自動化す

《会社概要》本社は東広島市福富町。1990年創業。95年に広島ピーエスとして有限会社化した。2014年、タイに出資会社を設立。20年12月の売上高は4億600万円。パートを含めた従業員数は28人。

る「スマート場内物流」の販売も始めた。昨年だけで広島県内外から約30件の問い合わせがあったという。

宮原和樹社長は「リストアップではなく、限られた社員を適材適所で生かそうとする企業と取引したい」と力を込める。自動化について、人間がなくてもいい作業をなくして生産性を向上させるのが目標だ。

「何でもまずは自分たちでやってみようという社風が、時代の変化に挑む対応力を育ててきた」とも語る。新型コロナウイルス禍に際し、消毒液のスタンドや間仕切り、布製マスクや医療用ガウンも生産した。

2月から、動画投稿サイト「ユーチューブ」に会社紹介を週1回のペースでアップ。6月には自社工場にもスマート場内物流を整備し、「魅せる工場」として顧客や住民に公開する予定だ。(堅次亮平)

◆新商品◆

8K動画対応のテレビ

シャープは、超高精細な「8K」の動画再生に対応した液晶テレビ「アクオス 8K」の写真を6月12日に発売する。8K放送に加え、動画投稿サイト「ユーチューブ」の高画質動画も楽しめる。話し掛けるだけで電源を入れたり、チャンネルを切り替えたりできる機能も搭載。想定価格は画面サイズが60インチで38万円、55インチで35万円、50インチで32万円、45インチで29万円、40インチで26万円、35インチで23万円、30インチで20万円、25インチで17万円、20インチで14万円、15インチで11万円、10インチで8万円、5インチで5万円。

中小経営支援へ 相談拠点を開設

北広島町に産振構
ひろしま産業振興機構(産振構、広島市中区)と広島県北広島町は、中小企業の経営相談に無料で応じる「広島県下各支庁拠点」のサテライト窓口を、同町の道の駅舞ロードIC千代田に開いた。県内3カ所目の拠点で、初のオンライン専門の窓口となる。



希望者は棟内工観光課の支援。同町と近隣の小規模事業者の各事業所がイン相談にも応

